

平成23年7月吉日

高尾台町会員・賛助町会員 各位

認可地縁団体 高尾台町会
町会長 永山 順一

署名活動について（ご依頼）

平素は、町会活動に対しご理解・ご協力を賜り誠に有難うございます。

今般、伏見台校下町会連合会を通じ「金沢市町会連合会」及び「金沢オウム真理教対策協議会」より署名活動の依頼がありました。

本件は、請願書にありますように、金沢市内に活動拠点を設けているオウム真理教主流団体「アレフ」は「無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律」に基づく観察処分の対象となっておりますが、平成24年1月末に観察処分更新の時期を迎えるにあたり、引き続き観察処分対象として更新を求める署名活動で、その趣旨に賛同する皆さまの署名をお願いするものです。

ご署名いただいた『「無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律」に基づく観察処分の更新を求める請願書』は、7月末日までに高尾台町会会館ポストへ投函をお願いします。

「無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律」に基づく 観察処分の更新を求める請願書

地下鉄サリン事件などの無差別大量殺人行為を行ったオウム真理教は、現在「アレフ」や「ひかりの輪」と名称を変えてはいるものの、その本質に変化はなく「無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律」に基づく「観察処分」に付されています。

オウム真理教主流派団体「アレフ」が金沢市内に北陸の活動拠点を設け、オウム真理教の教祖・創始者である麻原彰晃こと松本智津夫の著書や写真、説法を収録したCD等で修行しており、麻原への絶対的帰依が徹底されています。このことから、依然として、悪質かつ重大なテロリズムとしての犯罪行為を行う恐れを有する危険な団体であることは言うまでもありません。

世間の関心が薄れる中、「観察処分」が更新されないと、アレフは、「国から安全な団体と認知された」と自ら判断し、我々の身近な地域で宗教を装った活動を、巧妙かつ積極的に展開していくことは明らかであります。

我々は、アレフの魔の手から将来ある子どもたちを守ることはもちろん、地域全体の安全な生活を取り戻したいと願っています。そのためには、何としても平成24年1月末には、4度目の「観察処分」の更新を行い、解体に向けた取組みの強化を行っていただきますよう請願いたします。

平成23年 月 日

金沢オウム真理教対策協議会
会長 東 良勝
金 沢 市 町 会 連 合 会
会長 平田 博

法 務 大 臣 様
公 安 調 査 庁 長 官 様
公 安 審 査 委 員 会 委 員 長 様

上記の趣旨に賛同し署名します。

	氏 名	住 所
1		
2		
3		
4		
5		